



若い目

安全性か利便性か

尚志館高1年

楠原 大輝

原発をめぐる二つの記事が、ある日の新聞の一面を飾った。

一つ目は、三反園知事が専門家と共に原発の特別点検を視察し、「安全性」を確認したという記事だ。そうは言っても、住民の不安は拭い切れないだろう。

僕は、その「安全性」が常に保たれるわけではない

と考えている。福島第一原発のように、いつ何が起るかわからないからだ。

二つ目は、日本とインドが原子力協定を締結したという記事だ。インドが原発に頼らなければならぬ理由を知ったとき、言葉を失った。インドでは、約3億人が電気のない生活を送っている。約4分の1の人が

電気と無縁ということだ。

日本のどこを探しても、電気が見つからない所はない。それだけ電気という存在は、私たちににとって必要不可欠なものである。明かりを提供してくれる原発を推進する人がいる一方で、インドにも原発の「安全性」に懸念を抱く人もいる。原発は短時間で多くの電

気をつくることができるため、これから先、世界の電力を支える重大な役割を担うに違いない。「安全性」か「利便性」か。住民と真国の意見が食い違つ中、今後の原発問題を真剣に考えていきたい。(志布志市)